

別紙様式 1

令和 7 年度広中央中学校区研究推進計画

校番 (4) (広中央中) 学校

校長名 小林 浩樹

1 学校教育目標

学びいっぱい・笑顔いっぱい・元気いっぱいの児童生徒の育成

2 目指す児童生徒像

「学びいっぱい」・・・すすんで学び、思いや考えを表現できる児童生徒
「笑顔いっぱい」・・・思いやりがあり、助け合いながら活動できる児童生徒
「元気いっぱい」・・・たくましい体と心で最後までやりきることができる児童生徒

3 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
	【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体性】 【自尊心・協調する力】
後期	実社会の課題や新たに生じた課題等を解決するための，基礎的・基本的な知識や技能を身に付けている。	課題解決に向け，様々な資料や情報を多面的・多角的に考察することを通して，根拠をもとに自分の考えを適切かつ効果的に表現することができる。	目的を明確にし，課題解決に向け見通しをもって取り組み，他者とのかかわりを通して，学びを自己の生き方につなげることができる。
中期		課題解決に向け，複数の事柄や資料を比較，分類，関連付けて考察することを通して，根拠を明らかにしながら自分の考えを表現することができる。	課題解決に向け粘り強く取り組み，他者とのかかわりを通して，自分のよさや可能性に気づき，学び続けることができる。
前期		課題解決に向け，複数の事柄や資料を比べたり，分けたり，例えたりして，自分の思いや考えを明確にして表現することができる。	身近な対象に進んでかかわり，意欲的に学習したり生活したりすることを通して，自分のよさや可能性に気付くことができる。

4 研究主題等

(1) 研究主題

主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成
～個を大切にしたい支援の工夫と豊かなかかわりを通して～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

本中学校区は、令和 6 年度、「主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成～課題発見・解決学習と体験活動の推進を通して～」を研究主題とし、3つの部会を中心に、2小（広小学校、三坂地小学校）1中（広中央中学校）で研究に取り組んだ。

「学力向上部会」では、「授業を通して、各教科等における見方・考え方を働かせ、確かな学力の育成」「主体的・対話的で深い学びを創造」をねらいとして取組を進めた。特に、「広中央中学校区授業スタイル」を明確にし、単元を貫く課題の設定、ICTの効果的活用を意識して授業改善に取り組んだ。

「心の元気部会」では、「自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする児童生徒の育成」をねらいとして取組を進めた。各学校の生徒指導主事等を中心とした、小中合同挨拶運動の計画的実施や、小中学校の教員による乗り入れ授業を行った。

「グローバルマインド育成部会」では、「総合的な学習の時間や行事等を通して、異学年や地域との交流を深め、進んでコミュニケーションを図ることができる児童生徒の育成」をねらいとして取組を進めた。総合的な学習の時間では、地域と関連させた系統的な学習を位置付けることによって、育成したい資質能力を明確にしながら、児童生徒に課題意識をもたせ、主体的に活動に取り組ませることができた。また、まちづくりセンターと連携しながら広地区クリーン活動の取組を実施することにより、異学年や地域との交流を深めることができた。

これらの取組で、**自尊感情の向上、郷土を愛する心の育成**では一定の成果は得られた。しかし、学力結果からは、**全国平均を下回る児童生徒が多く、基礎的・基本的な学力が身に付いていないことが明確になった**。確かな学力の育成について課題が残ったため、**ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、より個を大切にしたい指導の工夫が求められる**。

そこで、今年度は、研究主題を「主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成～**個を大切にしたい支援の工夫と豊かなかかわりを通して～**」とし、**個に応じた指導の工夫や児童生徒同士、地域とのかかわりの場の設定に重点を置きながら**、本中学校区で設定した資質・能力の育成に取り組んでいく。

(3) 研究仮説

各種調査等の分析に基づいて指導上の課題を明らかにし、小中が一貫して**個を大切にしたい支援の工夫と豊かなかかわりの場の設定**をすることで、児童生徒が主体的に学ぶ楽しさを実感させながら、自尊感情の向上を図り、生きる力を育むことができるであろう。

5 研究内容

◇ 学力向上部会

① 主体的・対話的で深い学びの創造

- 単元を貫く課題の設定
- **広中央中学校区授業スタイルの徹底**
- ICTの効果的活用

② 小・中の学びをつなぐ取組

- 9年間を見通した学習規律マニュアルの作成
- 学力調査の分析による具体的方策の立案
- 中学校の学力補充への小学校教員の参加（中1）
- **ポートフォリオを活用した小・中間交流**

◇ グローバルマインド育成部会

① 郷土を愛する心の育成

- 総合的な学習の時間における郷土（人、自然、歴史等）を柱とした系統的な学習

② 行事等の体験活動を通じた資質・能力の育成

- 行事等で育成を目指す資質・能力の具体の姿の設定、評価と振り返り

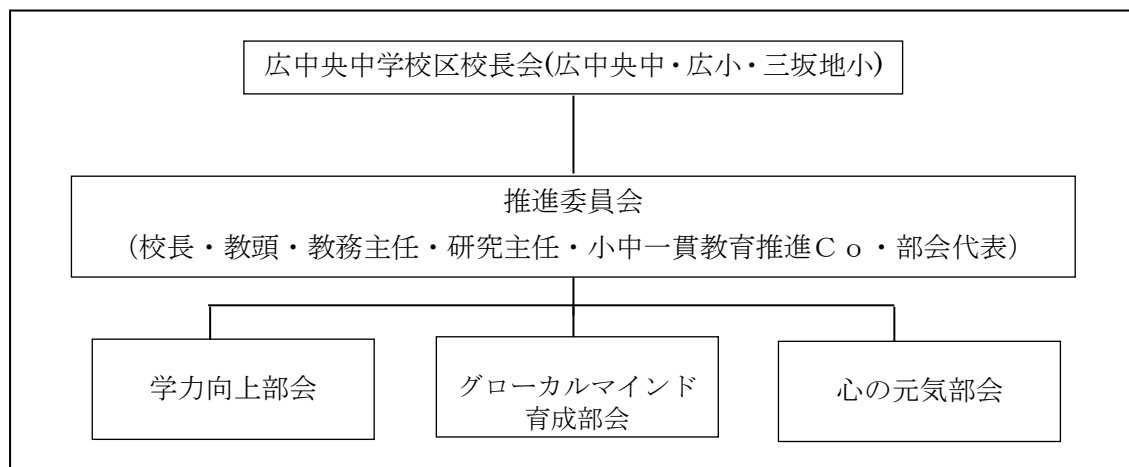
- 行事等での小・中、小・小間での交流
- 小中合同クリーン活動
- ◇ 心の元気部会
 - ① 生徒指導を軸にした小中連携
 - 小・小間、小・中間で生徒指導の指導事項を連携
 - 小中合同あいさつ運動
 - いじめ撲滅標語の交流
 - 中学校生徒指導担当者による小学校高学年への乗り入れ指導
 - 中学校教員による小学校への乗り入れ授業（小学校5・6年生 体育科）
 - 小学校教員による中学校への乗り入れ授業（食育指導）
 - ② 体力の向上に向けた取組
 - くれ・チャレンジマッチ・スタジアムの実施

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 個を大切にしたい支援の工夫とICTの活用により、考える授業づくりができたか。	授業評価シート 児童生徒アンケート①	研究授業における教職員の相互評価の平均（4段階評価） 児童生徒の肯定的評価	—	3.2以上
② 資質・能力を育成することができたか。	児童生徒アンケート グローバル② 心の元気部会③④⑤	児童生徒の肯定的評価	—	3.2以上
③ 児童生徒の学力が向上したか	標準学力調査（国語，算数，数学）	全国平均との差	全国平均との差 小学校 ＊2学期実施（広） （国）－1.1 （算）－1.6 ＊2学期実施（三坂地） （国）＋0.1 （算）＋1.2 中学校 ＊11月実施 1年 （国）－1.5 （数）－8.3 2年 （国）－3.7 （数）－2.4 3年 （国）－2.1 （数）－2.8	全国平均との差 広小学校 （国）±0 （算）±0 三坂地小学校 （国）±0 （算）＋2 広中央中学校 （国）±0 （数）±0

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等（中→小，小→中）

（中→小）

- ・ 小学校第 5 学年 体育科（週 1 回実施）
- ・ 小学校第 6 学年 体育科（週 1 回実施）

（小→中）

- ・ 中学校第 2 学年 食育（1 回実施）
- ・ 中学校第 3 学年 食育（1 回実施）

イ 小学校教科担任制等

8 推進計画

月 日	内容		
	広中央中	広小	三坂地小
4 月	○「全国学力・学習状況調査」 ○ I C T 研修	○「全国学力・学習状況調査」 ○ I C T 研修	○「全国学力・学習状況調査」 ○ I C T 研修
	○小中合同研修会（研究組織・今年度の取組等の確認，分科会）		
5 月	○ I C T 研修	○ I C T 研修	○ I C T 研修
6 月	○「広島県児童生徒学習意識等調査」の実施		
			○第 1 回研究授業（仮）
7 月	○1 学期 小中一貫アンケートの実施及び分析(1 回目)		
8 月	○小中合同研修会		
	○ I C T 研修	○ I C T 研修	○ I C T 研修
9 月	○「広島県児童生徒学習意識等調査」，「全国学力・学習状況調査」の結果分析		
10 月	○標準学力調査 ○第 2 回研究授業（仮）	○標準学力調査	○標準学力調査
11 月	○ I C T 研修	○ I C T 研修	○ I C T 研修
12 月	○広地区クリーン活動 ○2 学期 小中一貫アンケートの実施及び分析(2 回目) ○標準学力調査結果分析		
1 月		○第 3 回研究授業（仮）	
	○ I C T 研修	○ I C T 研修	○ I C T 研修
	○カリキュラムの改善		
2 月	○小中合同研修会（まとめ）		
3 月	○小中合同運営委員会（次年度の計画）		

9 その他

※ 研究構想図，カリキュラムマップを添付する。